

る國ならば佛法をもつてこれをやぶるべし。佛の印度にいでて外道をやぶり、まとうかぢくほうらんの震旦に來て道士をせめ、上宮太子和國に生て守屋をきりしが如し。佛教においても、小乗の弘まれる國をば大乘經をもつてやぶるべし。無著菩薩の世親の小乗をやぶりしが如し。權大乘の弘まれる國をば實大乘をもつてこれをやぶるべし。天台智者大師の南三北七をやぶりしが如し。而に日本國は天台眞言の二宗のひろまりて今に四百餘歲、比丘・比丘尼・うばそく・うばひの四衆皆法華經の機と定りぬ。善人惡人・有智無智、皆五十展轉の功德をそなふ。たとへば峴崙山に石なく、蓬萊山に毒なきが如し。而を此五十餘年に法然といふ大謗法の者いできたりて、一切衆生をすかして、珠に似石をもつて珠を投させ石をとらせたる也。止觀（五云、瓦礫を貴て明珠なりと申は是也。一切衆生石をにぎりて珠とおもふ。念佛を申て法華經をすてたる是也。此事ば申せば還てはらをたち、法華經の行者をのりて、ことに無間の業をます也。）但とのは、このぎをきこしめして、念佛をすて法華經にならせ給てはべりしが、定てかへりて念佛者にぞならせ給てはべるらん。法華經をすて、念佛者とならせ給はんは、峯の石の谷へころび、空の雨の地におつるとおぼせ。大阿鼻地獄疑